



1. 血液内科の特徴

血液疾患は高い専門的医療が求められる疾患の一つであり、当科は埼玉県西部の血液疾患診療の中核として紹介患者が多い大学病院として知られている。

造血器腫瘍の主な診療部門は、平成 19 年 4 月に開院した埼玉医科大学病院国際医療センター造血器腫瘍科に移動し、当院血液内科では各種の貧血性疾患、出血性疾患、再生不良性貧血や骨髄異形成症候群などの造血障害、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液疾患を中心に診療を行なっている。当科は 12 床のクラス 10,000 レベルの準無菌病室を備えた病棟を持ち、血液疾患の診療の基本から遺伝子診断、分子標的療法、サイトカイン療法などの先端的医療まで広く深く臨床経験を積むことができる。

2. 診療実績（平成 27 年）

主要疾患別の入院患者数		
造血器腫瘍	急性骨髄性白血病	14
	急性リンパ性白血病	3
	骨髄異形成症候群	13
	慢性骨髄増殖性疾患	4
	悪性リンパ腫	35
	多発性骨髄腫	46
	原発性マクログロブリン血症	1
	原発性アミロイドーシス	1
	慢性リンパ性白血病	2
	貧血性疾患	再生不良性貧血
その他の貧血		1
出血性疾患	免疫性血小板減少症	5
	凝固異常症	1

3. 診療科の体制

責任者：中村裕一 診療部長、教授 血液内科学、遺伝子診断、多発性骨髄腫

スタッフ：別所正美 教授 血液内科学、造血因子、貧血・白血病

脇本直樹 准教授 血液内科学、悪性リンパ腫

伊藤善啓 講師 血液内科学、輸血医学、多発性骨髄腫・マクログロブリン血症

阿久澤有 助教 血液内科学

奥田糸子 助教 血液内科学

4. プログラムの目的と特徴

本プログラムは、2 年間の初期臨床研修修了者を対象に、埼玉医科大学病院の医員としてさらに 4 年間の研修を重ねることによって、血液疾患を有する患者を主治医として診療することができる臨床能力を獲得することを目標としたものである。このプログラムに沿って当科で臨床研修を積むことによって、種々の血液疾患の診断と治療のほか、血液細胞移植療法にも対応できる高い診療能力を身につけることが可能である。

また、本プログラムの学習目標は、内科認定医および血液専門医の資格を取得することができるように、日本内科学会および日本血液学会の研修カリキュラムに準拠している。

すなわち卒業後 3 年目の内科ローテーション終了後に内科認定医試験の受験資格を得、さらに内科認定医 取得後、3 年の血液内科の研修にて血液専門医及び内科専門医の受験資格を得ることができる。当院

の臨床腫瘍科等をローテーションにより固形がん治療を修得し、日本臨床腫瘍学会専門医を受験することも可能である。また、学位取得のための研究、さらに海外へ留学等々、本人の希望により様々な進路に進むことが可能である。

5. キャリアパス（取得可能な資格）

日本内科学会認定内科医（卒後 4 年目～）、日本内科学会専門医（卒後 7 年目～）、
日本血液学会専門医（卒後 7 年目～）、がん薬物療法専門医（卒後 8 年目～）



教授回診



教授回診



カンファランス

6. 連絡先：血液内科 医局

担当者名 中村裕一（診療部長）

TEL : 049-276-1186

FAX : 049-295-8025

E-mail : ynakam@saitama-med.ac.jp